



TORA LOW TABLE

植物タンニンなめしの厚革を、無垢材で組んだフレームに棚板のようにわたしたローテーブル。革は時間をかけてじっくりとなめしたオイルヌメ。はぎれの縫いつなぎなどではなく、牛一頭からとれる革の半分、一般的に半裁と呼ばれる大きな革から切り出したものをそのまま使用している。

革の仕上について。市場に出回る革の仕上は、「染料仕上」または「顔料仕上」に大きく分かれる。染料仕上とは浸透しながら着色していく、木材でいうところのオイルフィニッシュのようなもの。革の銀面（表面）の表情・質感を活かす染色方法であり、経年による風合いの変化を味わえる仕上でもある。一方の顔料仕上とは、革の表面に色をのせる着色方法で、簡単にいうとペンキで塗りつぶすようなイメージ。革の風合いは損なわれるが、傷や皺などを覆い隠すことができる。

TORA に採用している革は染料仕上のものだから、革が本来持つ自然な風合いがそのまま活かされているが、それとともに、牛皮の天然傷であるナチュラルマークも隠されることなく残っていて、傷や皺、スジ、虫さされ痕などを革の表面に見つけることができる。名前の由来になった「トラ」も、実はナチュラルマークのひとつだ。傷と言われるとネガティブなものとして捉えてしまいがちだが、ナチュラルマークは天然素材の証であり、「革らしさ」そのものである。

ガラスの天板により、そんな「革らしさ」と、それを背景としたディスプレイも楽しめるようになっている。洒落た装丁の本や、ドライフラワーなどを飾ってみてもいいし、読んでいる途中の雑誌の居場所としてぼんと置いておくだけでも充分絵になる。また、個性的な意匠に見えて意外とコーディネート性は高く、様々なスタイルのソファと相性が良い。

革の色はブラックと、落ち着いた色合いのブラウンをラインナップ。樹種も 2 種類（ウォールナットまたはオーク）から選択可。組み合わせ次第で、色気のある上品なシーンにも、爽やかで明るいシーンにもマッチする。

[フレーム]ウォールナット無垢材(オイル仕上)/オーク無垢材(オイル仕上) [棚]厚革(タンニンなめし) [天板]ガラス
日本製

REMBASSY



TYPE			ZN LEATHER
9595 W950 D 950 H 370	<p style="text-align: center;">950</p>	<p style="text-align: center;">950</p> <p style="text-align: right;">370</p>	[WALNUT] [OAK] 267,000
1360 W1300 D600 H370	<p style="text-align: center;">1360</p>	<p style="text-align: center;">600</p> <p style="text-align: right;">370</p>	[WALNUT] [OAK] 267,000

価格はすべて税込表記です。